

# 地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。今回は福永淳史隊員が取り組んでいる、スポーツ関連事業について紹介します。

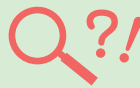
## ① 親子参加型の謎解きウォークラリー&食事会

現在新富町では、地方創生交付金事業「海の拠点」を活用して、富田浜公園の新たな利活用を模索しています。

そこで福永隊員が実証実験として開催したのが、親子参加型イベントです。子ども会の協力を得て、昨年12月25日に「焚き火トリップ・クリスマス企画」と題した、謎解きウォークラリーとお食事を実施しました。謎解きウォークラリーでは、子どもたちはチームごとに5か所のチェックポイントを巡り、謎解きクイズやスポーツ

ゲームに挑戦。協力してクリアした後、保護者も含めてバーベキューを楽しみました。

「新たなレクリエーションの可能性を発見できたと同時に課題も見えた」と語る福永隊員。引き続き、富田浜公園の利活用を検討していきたいと考えています。



## ② Jリーグ再契約を目指す選手のキャンプを開催

元Jリーガー・増嶋竜也氏が発起人となり、1月17日〜2月7日まで「Jリーグ（リバック）プロジェクト」が新富町で開催され、Jリーグチームとの契約を目指すサッカー選手たちが、富田浜公園にて



写真上・下／プロジェクトに参加した選手たち。写真左／話し合い（右から3人目）。



キャンプ型トレーニングを行いました。

プロジェクトに参加した選手のほとんどは、コロナ禍の影響で運営が悪化したJリーグチームから契約を切られてしまった選手。現役を続投したくても、所属がないと練習もままならず、PRの場も少ないのが現状です。

そんな選手たちの再起の場として、新富町を活用してほしいと誘致したメンバーの1人が福永隊員です。今回のようなスポーツ合宿の受け入れは、新富町では初めてでしたが、施設など十分な環境がそろっていること、宮崎県内では約20ものJリーグチームが春季

キャンプを行うなどPRに

適した立地であることなどから、ZPO Connecting Sports宮崎と合同会社町子屋の方の協力を得て、新富町へのプロジェクト誘致・開催が実現しました。福永隊員は、ヴィアマテラス宮崎に所属する地域おこし協力隊とともに、運営のサポートも行いました。

スポーツ合宿の受け入れは、地域経済の活性化や、訪問者の増加が見込まれます。新富町を訪れてもらう契機として、誘致やサポート環境の整備に力を入れていきたいと思っています。

（文責・総合政策課有馬）

